

(別添) ワクチン接種対応状況に関する会員調査(R3.4.19)結果抜粋

1. 市区町村との協議未実施について

市から個別案内が何も届かず、入居者からは「接種券が届いているがどうすればよいか？」と聞かれるも「未定」としか答えられず、大変に困惑している。
現状は、全く先が見えていないのが問題。接種場所、接種体制等について全く情報がない。確認しても、「現在調整中です。」としか回答がない。
事前協議もなく、突然接種券が届いたとしても対応できない。
今後の対応内容、スケジュールが不明確。入居者へどのようなアナウンスやご依頼をすれば良いのかが読み取れない、事業所として、どのように段取りすれば良いか判断がつかない。
行政から個々に通知が来るのではなく、こちらから情報を探しに行かないといけない。常にネットであちこち確認しておかなければならず、業務にも支障が出ている。
とにかく早く具体的な目途を事前に示して、せめて計画的に行えるよう願う。すべてにおいてなんの前触れもなく突然の指示で現場が振り回されている。
多数の高齢者が入居する施設なので、接種券の配布など形式通りの手続きをされると情報がなく現場が混乱する。ホームへは事前に協議をしてほしい
ワクチンが市より配布される際、従業員が受け取りに行くことになるが、運搬中の事故(例えば車で運搬中に誤つてワクチンを破損させてしまうなど)を考えると、配送してもらえば不安が解消できる。

2. 市区町村との協議内容に関する意見

「一般への案内に比べ、優先順位が高いとされる施設入居者の接種の流れについては連絡が遅いこと」や、不確定要素多いためか「質問への回答に曖昧な点が多いこと」「当初聞いていた話と方針が変わること」「それを当方から確認しないと分らないまま進んでいた懸念」など、市の対応が後手に回っている感が否めない。
ワクチンを受ける人だけの流れを先行したために、ワクチン保管方法、医療従事者確保、会場、予約などハード面の予定が立たず進行していない印象だった。行政だけが先走るのではなく、医療とも十分に連携がなされるべきだった。医師会が介入してからの進展がスムーズだった。
アンケートのみ2回ほど要請がありましたが、その後の予定は進みません。基本的には集団接種で地区的基幹病院へ受診しての接種と聞いています。ホーム内で集団接種できるようにしてほしい。
入居者数及び職員数を早く教えてほしい旨のメールが届き、返信したのはいいが、その後、どうなっているのかまったく回答がない。電話を何度もしているが、ワクチンが届かないで答えようがない、と言われる。
当日の流れや準備、ワクチンの取扱(ワクチンの管理や希釀などの準備)など、補助する看護師も把握しておきたいと思いますが、情報が不十分です。
接種についてのスケジュールが、国の想定よりずいぶん遅い。できないなら最初からその時期を伝えるべき。予定ができず、かなり混乱している。また、接種開始が遅いために、1日に接種しなくてはいけない人数が40名近くになる予定。このようなスケジュールは、今回のような初めてのワクチン接種で、ワクチンを廃棄しないようにするという対応をしなくてはいけないことを考えると、かなり厳しいと感じる。
施設に複数の医療機関が入っているが、自治体によって「一施設・一医療機関」と勘違いしている自治体がある。

家族からの問い合わせが多数寄せられている。それに対して明確な回答が出来ないのが心苦しい。また、いざ指示が来た段階で、接種希望確認や日程調整など時間を要すると想定される為、さらに接種できるタイミングが後ろにズレると想定している。

市に入ってくるワクチン量が少なく(7千名程度)市内で40弱の施設しか対応できない。5月中旬の接種に向けて申請しているが、どうなるかは不明。前回は施設からの申請、今回は協力医療機関からの申請となつたが、協力医療機関と行政間での連携がスムーズにできておらず、全く分からぬ状態。協力医療機関も困っているとの事だった。市は優先順位も「入居者人数が多い順」「医療依存度の高い施設」等の順位があり、当施設がどの順位なのか不明。いつ頃接種できるのか先が全く見えず困っている。

外来診療の方と訪問診療を受けている方の接種方法の提示の遅れとワクチンの確保前の予約券先行送付での混乱(予約開始してすぐに中断された。)。医療従事者への接種が滞り、さらに職員同時接種の人数確認後、特養優先に変更された。訪問診療を受けている方などの接種方法の提示が遅れ、混乱した。医師会の介入でスムーズに解決され、予定が立った。

高齢者施設の取り扱いが確定していないにも関わらず、接種券が送付されるため、入居者や家族が混乱しており、調整する施設側も手間ばかり取られている。

縦割り行政の弊害。市からワクチンの接種券が一斉送付され、家族からたくさん問い合わせがあつたが、ホームに情報がなく、回答に窮する。

早く接種してほしい。また、頻回なPCR検査を行うと厚生労働省は言っているが、一度も受けたことがない。特養と老健ばかりで、ホームは除外させているのか。

市に問い合わせし、施設でワクチン接種できるように検討し、文書発信するとのことであった。現在、75歳以上の一般高齢者には接種券が配布されはじめたが、施設での接種について発信文書はない。

3. 有料老人ホームの接種順位について

市町村から高齢者施設としての対応について何の連絡もないまま接種案内が届き、入居者から「施設として何もしてくれない」との苦情が殺到した。

入所している高齢者を優先してワクチン接種するとのマスコミ報道があるのに、市では、5月1日から一般の高齢者向けにワクチン接種の予約を始めるという案内をした。これでは、入居者の家族、身元引受人から、「では一体、いつワクチンを接種してもらえるのか。」という問い合わせが非常に多くなってきてている。遅いようであれば、直接、電話やネットで予約してワクチンを接種してもらった方がいいのではないかと家族から詰め寄られている。

市より一斉に接種券が送付されてしまったため、早速ご家族等から問い合わせが続いている。市では介護保険3施設への案内が出された段階で、HP上には<その他の施設については後日案内予定>と記載があるので、全く情報がない。市のワクチンコールセンターは話し中で繋がらず。コンタクトが取れない状況。施設優先とする一方で全市一般の75歳以上の高齢者にも順次接種可能と案内がされており、対応が一貫していない。入居者、家族への対応で、職員は労力を要している。ワクチンの確保・体制整備に、ある程度確かな見込みがついてからの接種券発送にしてほしかった。

「高齢者施設は優先的に接種を始める」という発表に対して、入居者の家族から具体的な日程を聞かれたため、市にスケジュールを確認したところ、「住宅型有料老人ホームは、今回の予定に含みません」と回答された。驚いてホームの類型を説明すると「はー、そうなんですね」との反応。「他の高齢者施設と同じように対応していただけますか?」と問うたが、市担当に「今はわからない。訪問医にそれぞれ打ってもらったらどうか」と言われ、当惑している。接種に関し、有料老人ホーム所管部局が関与していないのか。

5月から老健、特養の接種開始。6月からグループホーム、特定施設、の優先順位だが、住宅型有料老人ホーム・サ高住については、いまのところ考へてはいない、とのことである。

4. 接種方法等について

ホームには週2日、嘱託医が来ており、また看護職員が5名いるので、接種できる人的環境はある。当ホームが接種会場となるかどうかが最大の課題。外部での接種となると、かなりのマンパワーを要する。
協力医療機関の所在が別の区であるため、区からは医療機関がある自治体のワクチンで接種するように言われている。しかし、医療機関側からはホーム所在の区のワクチンでなら接種すると言われている。
接種医が自治体巡回医師か、往診医になるか不明。ワクチンの確保について、どこがどのように行っていただけるのか不透明。施設の往診医の所在が、別の市内であり行政区が異なり、求められる接種場所の条件が、現時点では不透明。
接種場所は施設でと考えているが、サテライト接種の認定を受けている協力医が仕組みを理解できていない。
入居者のかかりつけ医が往診医でなく外部クリニックの受診者の場合、施設内接種ができるかが不安。
接種体制については、【施設の協力医療機関で接種に協力してくれる医療機関がないか確認】⇒【接種日を決め】⇒【接種希望者を取りまとめ】⇒【市に提出】⇒【接種】、の運びとされるが、接種機関がない場合に市から医師が派遣されるか、等の明確な回答がない。また、接種後15分から30分はその場で安静にし様親の指示もあるが、急変時の対応などについても明記なし。一定時間観察を要するので、施設の規模によっては何日も要するが、その場合、協力医療機関の医師をその間確保しておくのが困難であると予想される。これらの課題について明確な回答はない。
併設診療所をサテライト型接種施設として登録し、入居者、職員とも施設内で接種予定だが、タブレットとアナフィラキシー用のアドレナリン2筒が送付されてきただけで、その後の連絡はなし。接種券は先週、予約のお知らせは今週届いているが、肝心の診療所にいつどれだけのワクチンが配達されるのかは皆目わからない状態。市に問い合わせても順番を待つようにとの回答のみ。
往診医が区内でない場合について問い合わせても、所在自治体に問い合わせるよう言われ、たらい回し状態である。当区の場合、ワクチン接種コールセンターと保健所と二分化しており共有していないため問い合わせが難しい。
往診医によるホームでのワクチン接種をお願いしたものの、実現できるか不明。仮に市内の集団接種会場へ出向くことになると、入居者で座位が30分も取れない方、大声を出す方がおり、会場で円滑な摂取ができないくなる可能性がある。こういう状況を行政の担当者は全く理解していない。会場までの往復の交通手段も介護タクシーを数多く使わなければならないと考える。そうなると職員も総動員しないと対応は難しい。
予診票の記載について、本人記入困難な場合に家族記入にせざるを得ないが、「病気の記載欄などについて施設職員が代筆して良い」と説明している自治体がある。本当に法的に問題はない(ホームに責任はない)のか。
全く意思疎通ができない臥床状態の方もいらっしゃるが、この方には後見人しかいない。対応方法の回答が得られない。
認知症等により意思表示が困難な方の同意が難しい。本人の意思確認となると多くの方の接種ができなくなってしまう。
自力で予診票が記入できないご入居者に対して、事前にご家族に希望有無調査をしたが、接種直前の予診票に希望有だからと言って職員が署名代筆できるかどうか不安。署名できなければどうすればよいのか。再度予診票をご家族に送付している暇はないと思われる。
接種希望について厚労省のQ&Aを見ても本人同意を取るようにとのことだが、ケアセンターではご家族すらもワクチンを打つべきかどうか判断できかねて、ホームで判断してほしいなどと言われる方が多い。主治医やご家族とよくご相談の上、ご自身でご判断くださいとしか書けない。重度認知症の方の判断は医療同意に準じてご親族や、いらっしゃらない方は身元引受人などが「判断」できるようにしてほしい。

入居者の住所地が異なる場合について、行政から明確な指示が出るケースはまれ。長引くコロナ禍での事業所運営においては、ワクチン接種が第一段階の「望み」であり、協会には是非ご尽力頂ければと願っている。

接種は早くも6月予定と市から電話あり。住所地が別の入居者について当該自治体に連絡するも、たらい回しにされた挙句、最後にはまだ何も決まっていないので後日知らせると言わされた。接種体制は全く整っていない状況である。

住民票所在地を問わず、接種医が申請した入居者リストで摂取できるようにすれば、数量の確保・接種の優先順位も付けられるのではないか。

5. 職員への同時接種について

入居者と同時に職員が1回目接種ができると仮定した場合、間違いなく2回目も入居者と一緒に(21日以内)に接種させてもらえるのか。

職員を一度に(一日で)接種させると、副反応も同じタイミングで複数名出て、結果として職員が出勤できず、運営が回らなくなる恐れがある。職員は何日かに分けて接種する機会をもらう訳にはいかないか。

当初「施設従事者は高齢者施設入居者と同じタイミングで接種可能」と聞いていたが、実際は「入居者の接種当日にキャンセルが出た場合、ワクチンを無駄にしないためのバッファー的要員としての接種」であり、これを「特例」と称しているが、これでは数名の接種しか見込めず、高齢者施設内でのクラスター対策の推進とは程遠いのが現状。

ワクチンを入居者分と職員2名分は接種できると話があったが、2名の職員の選定が難しい。

区から、ワクチンの配布数が少ないということで、入居者と職員は一緒に同時接種しない、との連絡があつた。事前にこのように連絡されると、どうしようもない。

職員は医療機関を受診しての接種を求められている。

職員の接種に関して、施設勤務以外、本社等に勤務者は、ワクチンの優先接種の対象となっていない。感染症発生時には、本社職員でも施設に赴きシフト勤務の一環を担い、施設勤務の職員と同等の職務を担う。本社勤務者もクラスター発生に備え、接種対象としていただきたい。

ワクチン接種は、集団免疫を獲得しなければ効果は薄れてしまうため、職員も同時に接種していただきたい。1ホーム単位で接種することで、ホーム内のクラスターを避けられるのではないか。

以上